

放射線+5FU+CDDP 療法<<初日に4日分調製>>

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

放射線+5FU + CDDP 療法 <<初日に4日分調製>>

1 コース予定

疾患名 食道癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原() HBs 抗体() HBc 抗体() HCV 抗体()

スケジュール

			day1	day2	day3	day4
フルオロウラシル	持続	2800 mg/m ² /4 日 【700 mg/m ² /日】	↓	→
シスプラチン		70 mg/m ²	↓			
				day29	day 30	day 31
フルオロウラシル	持続	2800 mg/m ² /4 日 【700 mg/m ² /日】	↓	→
シスプラチン		70 mg/m ²	↓			

- 【注意】 * シスプラチンは遮光のこと
 * シスプラチンはポンプを使用しないこと。
 * 一日の尿量が 3000 mL 以上になるように化学療法前日より輸液を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1, 29

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1C を内服

① 生食 500 mL で血管確保 点滴静注 (20 mL/時間)

② 生食 500 mL 点滴静注 120 分(250 mL/時間)

day 1 - day 5 フルオロウラシル + 生食 850 mL

輸液ポンプにて点滴静注 約 96 時間(10 mL/時間)

} 同時滴下

③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq

点滴静注 120 分(250 mL/時間)

放射線+5FU+CDDP 療法<<初日に4日分調製>>

④ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

⑤ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注 120 分 (250 mL/時間)

* 生食 200 mL をバッグから前もって抜いておく

⑥ フロセミド 20 mg 側管静注

⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq

点滴静注 120 分 (250 mL/時間)

⑧ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

⑨ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

⑩ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2 - 4, 30 - 32

⑪ デキサメタゾン 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注

⑫ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

⑬ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

⑭ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

⑮ ソルアセト F 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2, 3, 30, 31

アプレピタントカプセル (80 mg) 1C 1×朝 内服

放射線+5FU+CDDP 療法<<初日に4日分調製>>

	コース			
	day 1	day 2	day 3	day 4
投与日	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓			
確認				
	day 29	day 30	day 31	day 32
投与日	/	/	/	/
5FU 開始時刻	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓			
確認				